

東京臨海高速鉄道  
りんかい線

# 70-000形

## 共通組み立て説明書

### 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15歳以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

### 〈組み立てる時の注意〉

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

〈お買い上げのお客様へ〉 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〈電話受付先〉 バンダイお客様相談センター

(東京都) 池田市豊原241-22 ☎ 277-8511 ☎ 04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎ 531-0072 ☎ 06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

〈商品・修理品送付先〉 バンダイ 栃木修理・配送センター

栃木県下野郡壬生町5-0-25 5-61 ☎ 321-0298 ☎ 0282-85-0255

## Nゲージのパーツ交換について

■動力ユニットの取り付け(Nゲージの線路上を走行させることができます。)

### ●電車・気動車への動力ユニットの取り付け

\* KATO製「小型車両用動力ユニット」を使用します。シャーシと交換・装着します。

品番11-105	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-106	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-107	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
品番11-104	チビ客車用動力ユニット

\* KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、平すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車両によっては、底面の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

### ●トレーラー車への台車取付

\* 動力を入れない車両には、台車を取り付けます。

品番11-099	通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
品番11-098	急行電車①: 空気バネ台車タイプ
品番11-097	通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

\* 各社、割りピン取り付け方式の各種台車を取り付けることができます。緩い(硬い)場合は調整してください。

### ●機関車への動力ユニットの取り付け

\* KATO製「ポケットライン用動力ユニット」を使用します。このときスカートは外して、シャーシと交換・装着します。

品番11-103	ポケットライン用動力ユニット
----------	----------------

\* 11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

### ■パンタグラフの交換

\* お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO:11-401	PS14: 直流パンタグラフ	グリーンマックス: 80-2: PS13: 直流パンタグラフ
KATO:11-403	PS22: 直流・下枠変形パンタグラフ	グリーンマックス: 80-3: PT42: 直流パンタグラフ
KATO:11-404, 11-420	PS16: 直流パンタグラフ	グリーンマックス: 80-5: PT43: 直流パンタグラフ
* 11-420は、屋根穴が4個の屋根に対応します。		クロスイント: PT71C: シングルアームパンタグラフ

\* 各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

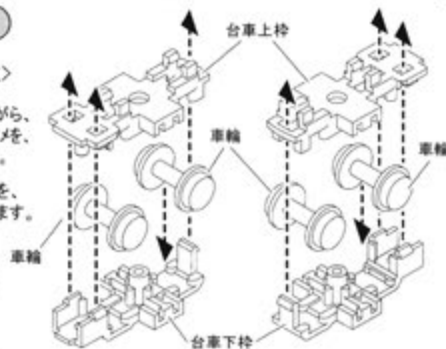
\* 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合がありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。

\* 動力ユニットの装着には、車両によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

### シャーシの組立

#### 1 <台車の組立>

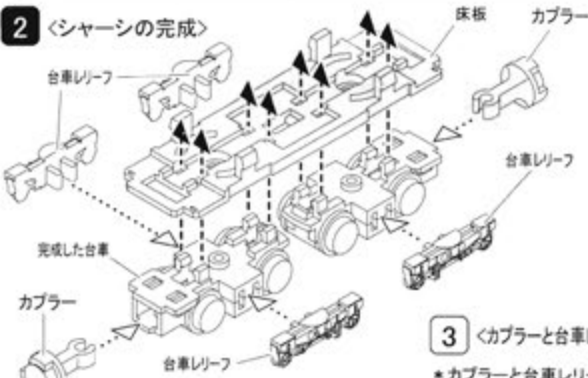
- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所ツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



#### 向きに注意!

台車の上枠の向き  
台車の下枠の向きに  
注意してください

#### 2 <シャーシの完成>



- 出来上がった台車を床板に取付けます。
- 台車の4箇所のツメを床板に通します。

#### 3 <カブラーと台車レリーフの取り付け>

- カブラーと台車レリーフの取り付けは、先にシャーシを車体に取り付けてから、最後に取り付けの方が楽に作業できます。
- カブラーのマグネットには極性があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。

### りんかい線70-000形・実車の編成例

1996年(臨海副都心線・新木場～東京テレポート開業)

5両編成

70-000	70-001	70-002	70-009	70-009
--------	--------	--------	--------	--------

4両編成4本(01～04編成)  
\* 1999年と、2001年(天王洲アイル駅開業)に1本ずつ増強105, 04編成。  
(04編成は行先表示器が車体からLED式に変更。)

2002年(大崎駅開業)

70-000	70-001	70-002	70-007	70-008	70-009	70-009
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

4両編成(01～05編成)を6両編成化。  
\* 70-001のパンタグラフは、各車別々に、新製車に転用。

70-000	70-001	70-002	70-003	70-004	70-005	70-006	70-007	70-008	70-009
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

10編成は10両編成化。  
(08編成は10両編成化。)

70-000	70-001	70-002	70-003	70-004	70-005	70-006	70-007	70-008	70-009
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

10両編成4本を新製。  
(07～10編成)

2004年10月以降

70-000	70-001	70-002	70-003	70-004	70-005	70-006	70-007	70-008	70-009
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

1新10編成パンタグラフ新製なし。  
\* 105-04編成の電動ユニットを101-04-04編成に継ぎつなぐ組み込み、新製車(105-04)を各編成に1両ずつ組み込み、10両編成3本を完成。  
\* 残った3両編成4両と電動ユニットは、JR東日本の209系3100番台に転用。

### 台車レリーフの向きに注意。



### カブラー(連結器)について。

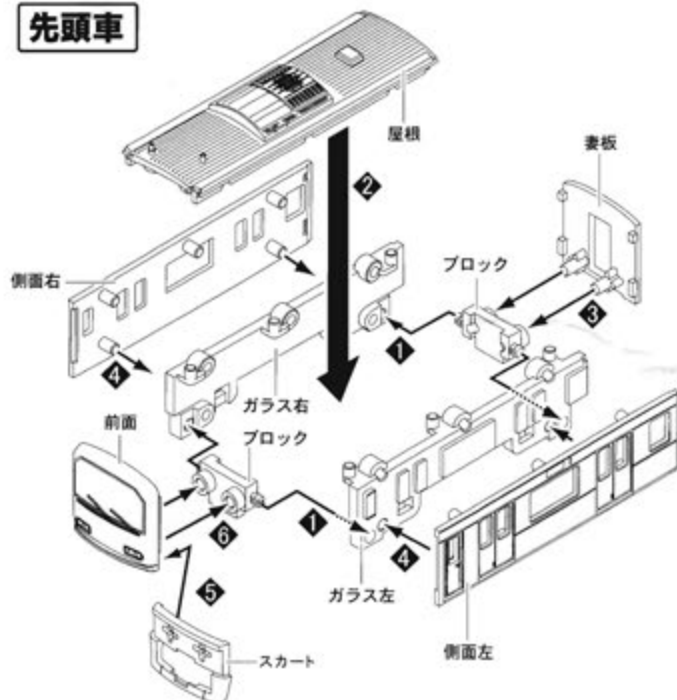
ダミーカブラー(先頭車正面などに使用します。)  
●連結はできません。



ドローバー(2両を固定連結する場合に使用します。)



## 先頭車



## 車体の組立て

\* 取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。  
\*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- ②屋根を取り付けます。  
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。  
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。  
\*妻板の凸部をきちんとはめ込んでください。
- ⑤前面にスカートを取り付けます。
- ⑥シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
- ⑦先頭車は前面を取り付けて完成です。

\* 取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

## おまけ

70-001-70001-70200 新タイプ用屋根



\* パンタ除去後を再現する場合は、屋根の裏から「ふさぎ板」を使ってパンタ穴を塞いでください。

## 中間車

### ステッカーの貼付け位置

\* 台紙から切り抜いて貼ってください。  
(刃物のお取り扱いにはご注意ください。)

方向幕



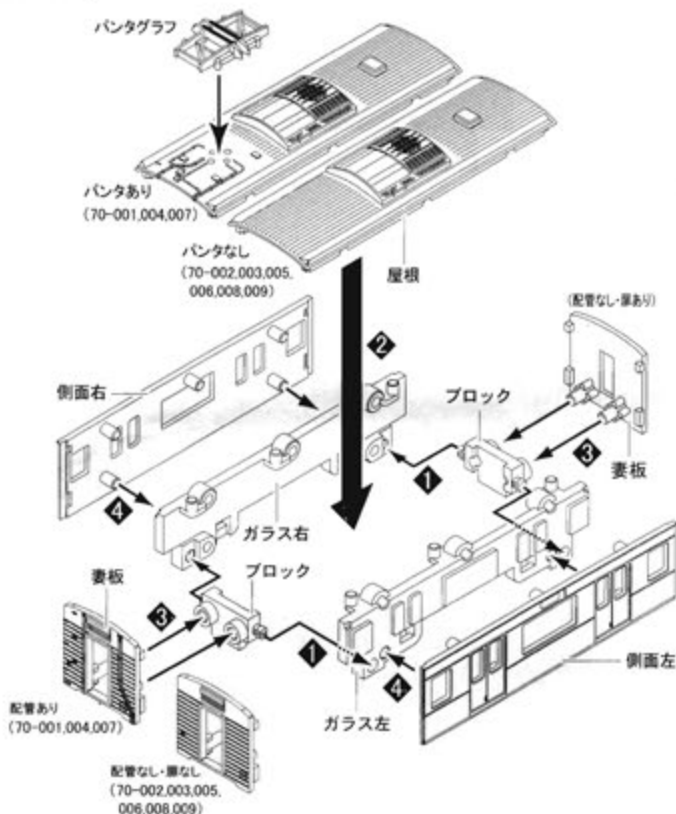
コーポレートロゴ (旧タイプ)

コーポレートロゴ (新タイプ)



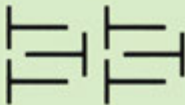
車体番号 70-090

車体番号 70-091



## 車体番号

70-000	70-009	70-018	70-027	70-036	70-045	70-054	70-063	70-072	70-081	70-090
70-000	70-009	70-018	70-027	70-036	70-045	70-054	70-063	70-072	70-081	70-090
70-001	70-010	70-019	70-028	70-037	70-046	70-055	70-064	70-073	70-082	70-091
70-002	70-011	70-020	70-029	70-038	70-047	70-056	70-065	70-074	70-083	70-092
70-003	70-012	70-021	70-030	70-039	70-048	70-057	70-066	70-075	70-084	70-093
70-004	70-013	70-022	70-031	70-040	70-049	70-058	70-067	70-076	70-085	70-094
70-005	70-014	70-023	70-032	70-041	70-050	70-059	70-068	70-077	70-086	70-095
70-006	70-015	70-024	70-033	70-042	70-051	70-060	70-069	70-078	70-087	70-096
70-007	70-016	70-025	70-034	70-043	70-052	70-061	70-070	70-079	70-088	70-097
70-008	70-017	70-026	70-035	70-044	70-053	70-062	70-071	70-080	70-089	70-098
70-009	70-018	70-027	70-036	70-045	70-054	70-063	70-072	70-081	70-090	70-099



号車番号-座席

70-000	70-009	70-018	70-027	70-036	70-045	70-054	70-063	70-072	70-081	70-090
70-000	70-009	70-018	70-027	70-036	70-045	70-054	70-063	70-072	70-081	70-090
70-001	70-010	70-019	70-028	70-037	70-046	70-055	70-064	70-073	70-082	70-091
70-002	70-011	70-020	70-029	70-038	70-047	70-056	70-065	70-074	70-083	70-092
70-003	70-012	70-021	70-030	70-039	70-048	70-057	70-066	70-075	70-084	70-093
70-004	70-013	70-022	70-031	70-040	70-049	70-058	70-067	70-076	70-085	70-094
70-005	70-014	70-023	70-032	70-041	70-050	70-059	70-068	70-077	70-086	70-095
70-006	70-015	70-024	70-033	70-042	70-051	70-060	70-069	70-078	70-087	70-096
70-007	70-016	70-025	70-034	70-043	70-052	70-061	70-070	70-079	70-088	70-097
70-008	70-017	70-026	70-035	70-044	70-053	70-062	70-071	70-080	70-089	70-098
70-009	70-018	70-027	70-036	70-045	70-054	70-063	70-072	70-081	70-090	70-099

## 種別・方向幕



## ラッピング



※ラッピングステッカーは、実車とは異なる部分があります。